



発行: 真宗大谷派 常入寺
富山市東老田 787 番地
電話 (076) 436-0816
FAX (076) 436-2766
携帯 090-3764-3983
発行責任: 青井和成

御文をいたただく 其の九

五帖目第一通 ⑨

末代無智の、在家止住の男女たらんともがらは、こころをひとつにして、阿弥陀仏をふかくたのみまいらせて、さらに余のかたへこころをふらず、一心一向に、仏たすけたまえともうさん衆生をば、たとい罪業は深重なりとも、かならず弥陀如来はすくいませすべし。これすなわち第十八の念仏往生の誓願のこころなり。かくのごとく決定してのうえには、ねてもさめても、いのちのあらんかぎり、称名念仏すべきものなり。あなかしこ、あなかしこ。

《試訳》

仏教を開かれたお釈迦さまが亡くなられて遙かなる時間が経ち、直接お説教を聞くことが出来ない今を生きている私たちは、こころをひとつにして阿弥陀

陀仏に浄土往生を深くたのみ、更にはあれやこれやとさまざまな神仏に頼まず、こころをひとつにしてこころより阿弥陀仏に助けを請えば、たとえどんな罪深い生き方をしてこようが、必

ご命日の集い

三月から再開します

ご命日の集いとは私たちの宗祖、親鸞聖人のご命日である二十八日に開催する仏事です。常入寺では三月から九月の間の毎月二十八日に勤めています。何をやっているのかといえば、実は難しいことは何ともありません。宗祖親鸞聖人がお造りになられた「正信偈」といううたをみんなで節を付けて読んで、後はお茶を飲んでいるだけです。

それだけです。
皆さんも月に一度お寺に集いお茶しませんか？
どうぞお気楽に顔をお見せ下されれば幸いです。
お待ちいたしております。

毎月二十八日
午後二時～三時ぐらいまで
とにかく一回来てくだはれま！
たのんすゃ

つながりを大切にしたい
だから
月参りの時忙しくなかったら、
**お茶を飲みながら
何か話しませんか？**
お天気の話しからしかできませんが…

ず阿弥陀如来はお救いくださいさるのです。
これは、阿弥陀仏が佛となられるときに誓われた時のお心です。だから、このように自分のこれからの人生で頼るべき事はつきりしたならば、意識して、また夢の中でもいのち尽きるまでお念仏をもうなさければならないものなのです。
あなたに敬意を込めて。

先月から月参りでの御文は五帖目第二通「一文不知」を拝読しています。

井波別院 御法宝物御巡回

2月10日(水)
午前9時30分より
午後3時30分まで

会場 常入寺庫裡座敷

布教使 藤井 乗 師

ご近所の方をお誘いの上是非お参りください。おまちいたしております。

2009 年度常入寺収支報告 (2008 年 12 月 1 日～ 2009 年 11 月 30 日)

一般会計

収入 4,741,621 円 支出 4,741,621 円

お布施・派遣収入（布教、助音）が一般収入の主項目です。支出の主項目は住職給与、伝道車維持費になります。

維持会計

収入

項目	昨年度決算額
報恩講	166000
御正忌	103,000
祠堂経会	185,160
ご命日・子ども	30,300
年頭	299,670
祠堂	360,000
維持金	545,000
雑収入	261,000
一般会計より	0
昨年度繰越金	43,746
合計	1993876

支出

項目	昨年度決算額
維持	864,512
教化	89,546
報恩講	208,625
御正忌	18458
修正会	27,707
祠堂経会	125,887
ご命日・子ども会	43,770
巡回法座	45,775
仏具購入	0
会議費	89,730
事務費	139,442
一般会計へ	288,621
合計	1,942,073



真宗大谷派(お東)高岡教区 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌 お待ち受け法要 門首ご夫妻とともに井波別院瑞泉寺で

宗祖としての親鸞聖人に遇う

御遠忌(ごえんき)とは、50年ごとにお勤めされる法要で、近年では1990年(平成9年)に第八代・蓮如上人の五百回忌法要を勤めました。来る2011年(平成23年)の親鸞聖人七百五十回忌法要にむけ、高岡教区ではお待ち受け法要を厳修します。これら御遠忌を節目として、いま一度自らの生き方、生活の有様を見つめなおし、私たち一人ひとりがあらためて宗祖が類らかにされた本願念仏の教えを受けとめていこうではありませんか。

高岡教区御遠忌委員会委員長 廣橋 康 磨



●お待ち受け法要のご案内●

日時 2010年(平成22年)4月24日(土)
場所 井波別院 瑞泉寺
午前10時 井波別院師上人御忌法要
午後1時 お待ち受け法要開会挨拶
午後1時30分 お待ち受け法要(正信興高四句目下)
午後2時15分 法話(元城瑞泉院輪香 夏野右近氏)
午後3時30分 帰敬式(詳細は裏面をご覧ください)
午後6時30分 門首ご夫妻歓迎会(副波平安園/詳細は下記)

●お待ち受け法要 子ども大会のご案内●

日時 2010年(平成22年)4月25日(日)
場所 井波別院 瑞泉寺
午前9時 子ども連によるパレード
午前10時 子ども大会開会式 たのしいイベント
午前11時30分 閉会

●門首ご夫妻歓迎会のご案内●

日時 2010年(平成22年)4月24日(土) 午後6時30分開宴
場所 副波平安園 3階ホール
受付 午後6時から
参加費 15,000円(当日受付でお支払ください)
申込み方法 申し込み用紙に必要事項を記入し、3月20日までに高岡教務所へお申し込みください。200名になり次第締め切ります。申し込みいただいた方には後日詳細なご案内を郵送します。

【申し込み・問い合わせ】真宗大谷派 高岡教務所(富山県高岡市丸の内2-15 電話 0766-22-0464)

門首ご夫妻歓迎会参加申込書

氏名 <small>ふりがな</small>	所属寺院	組 寺	住職・寺族・門徒
住所 <small>〒</small>	電話番号		

(注意)●帰敬式をご希望の方は裏面の申し込み用紙に記入してください。●人数が2名以上の場合はコピーしてお使い下さい。

高岡教区宗祖親鸞聖人 七百五十回御遠忌 お待ち受け法要

時 2010年4月24日～25日

於 井波別院瑞泉寺

真宗大谷派御門首による帰敬式(おかみそり)が執り行われます。

御門首によるおかみそりはなかなかありません。これを機に受式なさいませんか？

帰敬式は「おかみそり」とも言われ、「仏」「法」「僧」の三宝に帰依し、宗祖親鸞聖人が明らかにされた「教え」に自らの人生を問いたずね、真宗門徒として新たな人生を歩み出すことを誓う大切な儀式です。受式されると、仏弟子としての名前である「法名」(釋○○あるいは釋尼○○)が授与されます。ともすると、法名は「亡くなってからいただければよい」と思われているかもしれませんが。しかし「帰敬式」は、お釈迦さまの弟子(仏弟子)になることであり、法名は、南無阿弥陀仏の教えにみちびかれ、仏道を歩む者となった新たな名のりです。したがって、生きている「今」受式することに、帰敬式の本来の意味があります。

真宗の伝統のなかにこの身を受けた一人ひとりの、人生の新たなスタートとして、「帰敬式」を受けましょう。